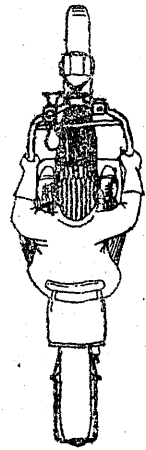


通信

外遊短信の中より



蠻 仙 生

一 揚子江岸より

一昨日門司より乗船、昨日午下右手に島影を見る。即ち朝鮮濟州島にして雙眼鏡を出して之を眺むれば鮮人の村落點々指呼すべし。夕方海上にイルカの群を見る。今日周山列島の見え初むる頃より海水黄濁して赤土水の如く夜は常例の鹽風呂も立たず。海上には異様な帆を掲げた支那船が多し。明日は上海に到着の豫定。(八月十四日)

二 上海より

上海上陸以來貨物積込の都合に依り、今日迄滞在香港には寄港せぬらしい。上海は日本からも近く且世界的色彩の最も濃厚なる所なれば一度は家族旅行をして見るも悪くなし。上海滞在中汽車にて蘇州に遊び驢馬に跨りて各所の見物をなせり時代離れのしたるところ頗る面白し。(八月十九日)

通

信

三 新嘉坡より

新嘉坡より十哩の處にある日新護謨園視察の爲め自動車を驅る。途中熱帯流の大雨ありしも反つて爽快を覺ゆ。馬來半島行は時間の都合にて中止す。日新護謨園よりの歸途タンジョンカタンの海岸をドライブして迎陽館に夕食を認む。庭前に黄熟せる椰子の果實あり。即ちコボン(馬來語にて小使の意)に採らせて其の美味を喜ぶ。新嘉坡に来て何より嬉しきは熱帯産の果實の豊富なることなり。(八月三十一日)

四 コロンボより

愈々動物園の人氣者象の本國に來た。錫倫では象が種々の仕事に従事して居る。又よく人に馴れて居るので人に害を加へない。コロンボの港の防波堤には痛快な巨浪が壯に碎けて居る。此の港は全く人工が主となつて出來たやうに見えた。(九月七日)

五 ポートセツトより



シャトデーフは眼下にあり。プラタナスの巨木が三哩も續くと云ふル、ブラドリーの並木道は馬耳塞にて吾人の見る可きもの一つなりき。只今からリオンに向つて此の地を出發する所だ(十月三日朝オテルループルにて)

七 里昂より

朝、佛國絹織物の産地里昂に到着、市内を見物して一泊の上明日パリに向ふ豫定。里昂は我が國の京都の如く美しく静かなる都會なり。ゾーヌ河に架けられたる多種多様の橋梁は少なからず旅行者の注意を惹く。(十月四日オテルダングレテールにて)

今朝スエズ運河を通過してポートセツトに到着。

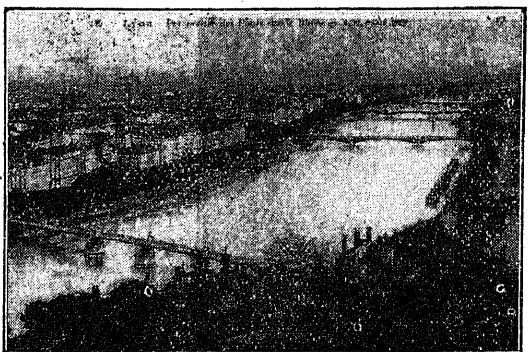


ピラミット、スフィンクスは此の地より百哩のカイロ附近に在り。スエズ運河を通過して砂漠にはほとほと飽きたり未だ戰爭當時の鐵條網が錆びたるまゝ、砂漠に打ち捨てられたるを見る。(九月二十五日)

六 馬耳塞より

十月二日朝佛國馬耳塞港に上陸、肥えたる馬が三頭立ての貨車を挽きをるも亦景氣よろし。一泊して市中を見物す。地中海を一望に收むる。レストラン、パラス、レゼルベにて紅茶を飲む。岩窟王に名高き

八 巴里より



五日朝里昂を出發して其の夕刻巴里に到着。二三日を市中の見物に費し、エツフェル塔上より市中を大觀せり。コンコルドの廣場を中心としてエトワール迄續くシャンゼリゼーの通りも美しければチュレリー宮からルーブル迄續く並木地帯も亦決して捨て難し。(十月七日オテルロツ

九 倫敦より

今日巴里出發英國に向ふ。巴里郊外の好天氣に乗

じて飛行機盛に飛ぶ。田畑は既に秋の收穫を了り農夫は足に木靴を穿ちて悠々煙草を吹く。アミアンの町のあたり獨逸軍の手に破壊されたる家も少なからず鐵道沿線には未だ鐵條網も其のまゝなるに野原には一面眞紅に燃ゆる雛芥子が咲く。午後四時カレーに著き風寒さ英國海峽を渡ること一時間餘にしてドーバーに著く。汽車のボーイのイエニスサーも嬉しくピクトリヤ停車場に著き



しげ夜の八時也(十月七日インペリヤルホテルにて)

一〇 倫敦の郊外より

天氣よし。英國の日曜は商店も芝居も見せ物も皆

休みなれば郊外に出づる外なし。今日はS氏とキユーガーデンを一覽の後リッチモンドパークに遊ぶ。園内鹿多し更に小蒸氣にてテームスの上流に溯りてハンプトンコートに行き園内の秋色を賞す。(十月十日)

一一 サウスケンシントンより

今日ドウニングストリート十番地に總理大臣の官舎を見る。さゝやかなる重畳なれども歴史とロンド



ンの煤煙とに黒く苦蒸して何となく床かしき思のする家なり。晝食を了へて議會の傍聽に出掛く。下院

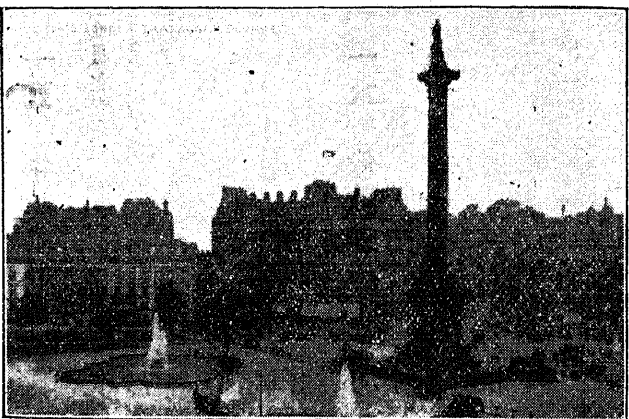
にはロイドジョーザ氏の石炭坑夫ストライキの善後策に關する演説ありき。議員に禮裝の比較的少なく概ね背廣服なるも面白い。萬綠叢中紅一點の女代議士アスター夫人にも異彩ありき。(十月十九日)

一二 ラファエルガー廣場より

今日は五十年の昔ネルソン提督がトラファルガーの海戦で戦死した當日として、トラファルガー廣場はネルソンの像を中心として、例年に比し一層美しき花輪を以て裝飾せられ、之を觀むとて集るもの多く其の間を馳せ廻りつゝ、記念の繪ハガキや當時の海戦記事を記載せるタイムスの複製などを賣る際物師も少なからず而かも品物は何れも飛ぶやうに賣れて居た。午後は霧深くして人の顔なども定かに見えず(十月二十一日)

一三 カーライル博物館より

チャブマン公園に遊びての歸るさ、A氏とカーライル博物館を訪ひて逝きし天才の像を忍ぶ。地下室に臺所ありストーブの傍の長椅子には子猫の心地よ



げに眠れるを見る。カーライルとテニソンとが共に一夜を語りしは此の所なりと云ふ。夏目漱石氏を十數年前に案内せしイサベラーストロングと云ふ老婦は其の娘に案内役を譲りて靜かに此の建物の中に餘生を送りつゝあり。遇い度しと云ひしに出で來しは人好きのする老婦なり。

日本の詩人が書いた詩なりと云つて示すのを見れば、此の家の臺所の爐を讀むだ歌なり。(十月二十九

日)

此の前に彼のテニソンと打とけて語りけむとて
爐の火をぞ見る

一四 倫敦シチーより



朝から非常な霧にて數尺前も見えぬ位O氏A氏と
英國労働會議長を
訪ふて歸る途ブリ
ートスフリート邊
にて黄色の霧に攻
めらる。街上に立
ち込めて、之を目
に入れ、ば涙の出
る位い痛し。午後
一時頃なるに街燈
に火を點し馬車も
自動車も皆ヘッド
ライトを點す。此
の如き日には得て
して交通事故が多

いと云ふ。此の日初めて倫敦の霧の猛威を看得した
(十一月四日)

一五 牛津より

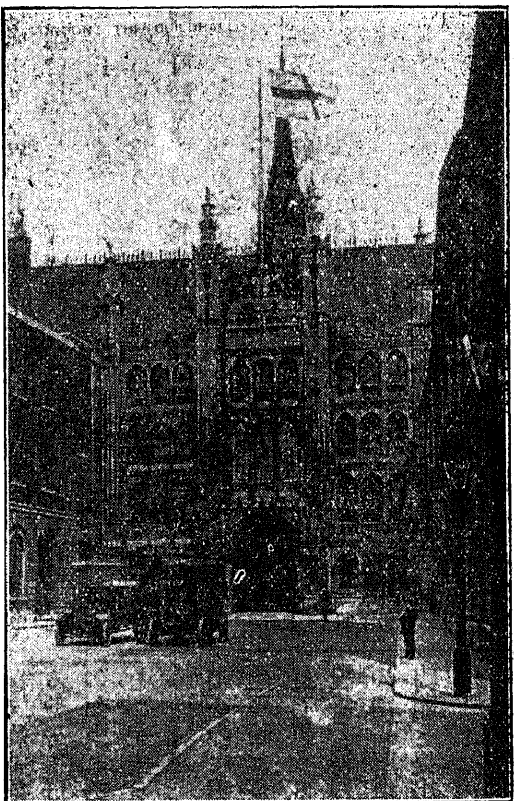
日曜日を幸ひ、O氏A氏T氏H氏等と牛津大學に
T、O氏を訪ふ。牛津の町は實に静かな住心地のよ
き所なり。大學の寄宿舎で晝食の饗應を受け詩人ア
デソンが散歩したる所なりとて其の名を得たるアデ
ソンウオークのあたりを逍遙す。此の邊は實際に歸
るのが惜いほどよき所なり。(十一月七日)

一六 倫敦シチーより

倫敦の市長は其の任期が一年にて、毎年今月今日
は、其の更代の式あり。一町も續く長い行列が、三
四組の軍樂隊を附けて、市中を練り廻はす。市民は
新市長の就任を祝し、且舊市長の勞苦を謝するが爲
め、皆帽子を振る。夕刻には市長の就任披露が市長
の官舎で開かれて、國王を初め總理大臣以下各國務
大臣も皆出席する。其の晚餐の席上で總理大臣が其
の一年を通ずる施政演説を爲すのが例なり。英國倫

敦の市長は、議會も侵すこと能はざる重大なる自治
の權限の掌握者なり。(十一月九日)

至らざるは不幸中の幸と可申候、帝都の道路が此の
如き現状にあるは路政に關係する者の極めて遺憾と



東京だより

田 中 生

肅啓、梅雨の候、日々の降雨に帝都は泥濘の巷と
化し、國道は勿論市道に至るまで、路面は恰度稻を植
ふるに適當な程度に相成候得共、未だ膝を沒するに

し憤慨したること再三にして止まらず候得共、此の
如き狀況にては地方人士の鼻を高くするも無理から
ざる義と被存東京市道路局の健在を疑はざるを得ざ
る次第に御座候、地方に出で八ヶ間敷指導する大手
町邊の監督官廳の技術家連も御手許にて觀慣れた勢

倫 敦 市 役 所

する所に御座候、偶々道路工事を
執行致居候得共一意工事の完成に
急にして一般交通を顧る暇なき
が爲か、所在に交通を杜絶せる個
所を見受け候のみならず、之と占
用の爲にする道路工事と相錯雜し
て施行されつゝあるが如きは自動
車の泥除装置が日本の獨特である
と同様に到底他國では見ることを
得ざる現象に御座候、小生等常に
地方に出張して道路の批難を試み
候とときに「是れでも東京の道路よ
りは良好である」との答辭に遭遇